

VI

道徳教育研究グループ

各学校の道徳教育の推進をはかる！

—道徳の時間を充実させるために—

道徳教育研究グループ

< 研究員 >

豊津第二小学校	教諭	平田	葵
西山田小学校	教諭	楫野	良子
高野台小学校	教諭	磯崎	淳子
藤白台小学校	教諭	宮本	真鈴
第六中学校	教諭	山田	梓
南千里中学校	教諭	明原	由美子
山田中学校	教諭	中野	涼子
西山田中学校	指導教諭	野本	玲子

< スーパーバイザー >

大阪教育大学 教授 金光 靖樹

1. はじめに

平成24年度より中学校でも新教育課程の本格実施がスタートし、小・中学校学習指導要領の総則・教育課程編成方針にあるように、全教科・領域・学校の教育活動全体を通して道徳教育を推進していくことが求められています。吹田市教育委員会でも、道徳教育を各学校で取り組むべき指導事項のひとつに掲げ、その推進と充実に取り組んでいます。

この教育の流れを受け、吹田市立教育センターでは、吹田市内の各小・中学校の道徳教育の推進と充実の一助となることを目標に、道徳教育研究グループを立ち上げました。小・中学校の教員からなる8名の研究員と共に、研究のスーパーバイザー(SV)として、大阪教育大学の金光 靖樹 教授を迎えました。

研究のテーマは各校の道徳教育推進に寄与することを明確にするため、以下のように設定しました。

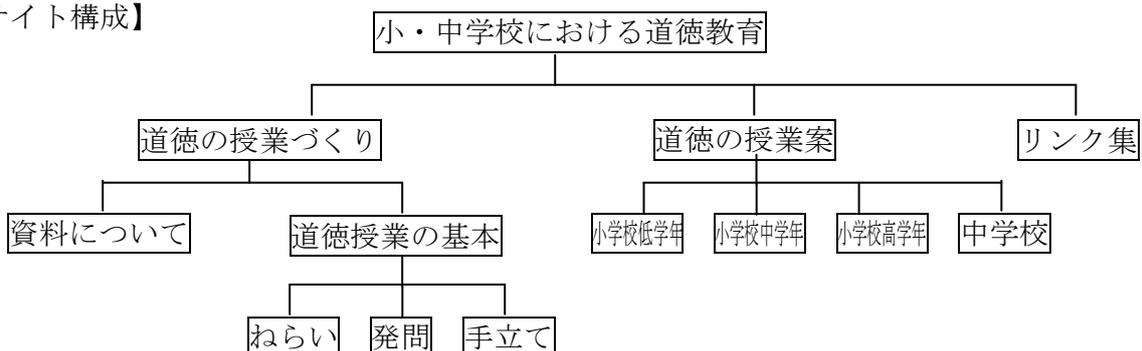
『各学校の道徳教育の推進をはかる！』
～道徳の時間を充実させるために～

2. 研究の目的と概要

昨年度は、研究員同士で読み物資料を使った「道徳の時間」の授業について授業観を共有することを研究の目標としました。そのために、小学校と中学校で読み物資料を使った「道徳の時間」の授業案を作成・実施することで、「道徳の時間」の授業やその指導について共有していくことにしました。また、小・中学生の発達の違いを明らかにするために、共通した読み物資料を使用して、共通した内容項目にねらいを定めて授業案を作成していくことにしました。昨年度実施した授業では、読み物資料として「あるレストランのできごと」(出典:「ディズニーランド流心理学『人とお金が集まるからくり』」山田 眞、三笠書房)、内容項目は「2-(2) 思いやり」と決め、研究を進めました。

今年度は、道徳の時間の授業を各教員が実践していくための支援として、道徳のデジタルコンテンツ『これから道徳の時間の授業をする人のためのページ』を作成することにしました。道徳の時間の授業について、「そもそも道徳教育とは何なのか」という基本的なことから、道徳の時間の授業のキーワード、例えば「発問」「資料」「板書」などについて解説しながら、「道徳の授業づくりの基本」がわかるような内容を考えました。また、すぐに役立つコンテンツとして、具体的な指導略案・ワークシート・資料をセットにしたものも、小学校低・中・高学年、中学校と対象を分け、ホームページにアップします。作成した基本ページの構成は次の通りです。

【サイト構成】



3. 経過

- (1) 平成25年 5月13日 (月) 研究テーマと活動及びSVについて
- (2) 平成25年 6月20日 (木) HP内容について検討
- (3) 平成25年 8月29日 (木) HP内容について検討
- (4) 平成25年10月11日 (金) SVとHP内容について検討
- (5) 平成25年11月12日 (火) SVとHP内容について検討
- (6) 平成25年12月 5日 (木) 吹田市教育研究報告会の打ち合わせ
- (7) 平成25年12月25日 (水) SVとHP内容について検討
- (8) 平成26年 1月22日 (水) 吹田市教育研究報告会の打ち合わせ
- (9) 平成26年 2月13日 (木) SVとHP内容について検討
- (10) 平成26年 3月10日 (月) HP内容について検討
- (11) 平成26年 3月27日 (木) SVとHP内容について検討

※SV：スーパーバイザー (Super Visor)

※HP：ホームページ

4. 研究成果

『これから道徳の時間の授業をする人のためのページ』

5. おわりに

『これから道徳の時間の授業をする人のためのページ』は、平成26年度の4月から運用をし、SATSUKI ネットのポータルサイトのリンクからアクセスできるようにします。「道徳の研究授業をするけど、どうしたらいいの?」「道徳の時間ってそもそもどうしていいかわからない。」道徳研究グループが作成しているのは、そんな人のためのコンテンツです。是非、日々の道徳の時間の授業充実のために、活用してもらえたらと考えています。